

グースアス舗装の 材料運搬車両増強

大成ロテック

大成ロテックは6日、橋梁の床版防水層などに使うグースアスファルト舗装の材料運搬用に製作した特殊専用車両「アスファルトトラックカー車」を3台導入したと発表した。

車両にはITを利用した「モニタリングフォローステム」を搭載。機械装置の稼働状況確認や遠隔操作が行える。同社の機械技術センター（埼玉県鴻巣市）と施工現場との間でトラブルに迅速に対応できる体制も確立した。

材料運搬時の保温方法を従来のガス加熱式から電気加熱式に変更した。安全上、走行中はガスを消火する必要があったが、電気加熱式

は走行中でも加熱が可能。安定した品質の材料を現場に供給できる。

同社は大成建設グループの成和リニューアルワークス（東京都港区、幸長茂雄社長）と共同で19年にプロトタイプを製作、試行を重ねてきた。今後保有するトラックカー車にも「モニタリングフォローステム」の導入を促進。グースアスファルト舗装の市場を見極め車両を増強していく方針だ。



走行中の加熱も可能